

2014 2015年度 府職労役員選挙

9月26日(木)投票が行われる役員選挙で、下記のとおり立候補の届出がありました。いずれの役職も定数内の立候補なので、信任投票となります。

●本部

- 執行委員長候補 (定数1名)
有田 洋明 (土木現場支部西大阪治水分会)
- 副執行委員長候補 (定数3名)
野寄 法彦 (保健所支部四條畷分会)
竹中 道子 (府税支部泉北分会)
山本 桃代 (呼吸器アレルギー医療センター支部5A分会)
- 書記長候補 (定数1名)
小松 康則 (府税支部中河内分会)
- 書記次長候補 (定数1名)
川津 匠 (総務農林支部総務分会契約局班)
- 会計候補 (定数1名)
峰松 泰 (教委支部教育振興分会)
- 執行委員候補 (定数6名)
永本 隆行 (土木現場支部南都下水分会)
長池 敦子 (保健所支部富田林分会)
樋口 浩之 (土建支部公共建築分会)
前田 治敏 (健康福祉支部相談所分会吹田子家C班)
田岡 康秀 (総合医療センター支部)
山本 勝彦 (環境農林水産総合研究所職員労働組合)
- 府職労執行委員候補
橋口 紀塩 (土建支部住宅経営分会)
小山 國治 (府税支部なにわ北分会)
高本 幸義 (土木現場支部枚方土木分会)
- 会計監事候補 (定数2名)
渡部みどり (土建支部住宅経営分会)
奥田 和重 (商工労働支部障害者能力開発校分会)

●現業評議会

- 議長候補 (定数1名)
堀田 裕子 (総務農林支部総務分会庁舎管理班)
- 副議長候補 (定数1名)
結城 康雄 (教委支部図書館分会中之島図書館班)
- 事務局長候補 (定数1名)
小池 正夫 (府税支部泉南分会)

●女性部

- 部長候補 (定数1名)
森 かすみ (保健所支部池田分会)
- 副部長候補 (定数3名)
藤本 淳子 (健康福祉支部国民健康保険分会)
中野千恵美 (保健所支部八尾分会)
- 菊本 浩子 (総合医療C支部外来分会)
- 書記長候補 (定数1名)
福田佐代美 (土木現場支部寝屋川水系分会)

●青年部

- 部長候補 (定数1名)
中森 貴大 (土木現場支部八尾土木分会)
- 副部長候補 (定数2名)
中曽根万紀子 (保健所支部四條畷分会)
森藤 祐史 (総合医療C支部臨床工学分会)
- 書記長候補 (定数1名)
荒木 大地 (土建支部河川分会)

●府立病院機構労働組合

- 執行委員長候補 (定数1名)
山本 桃代 (呼吸器アレルギー医療センター支部)
- 副執行委員長候補 (定数1名)
村下 正人 (精神医療センター支部)
- 書記長候補 (定数1名)
田岡 康秀 (総合医療センター支部)
- 書記次長候補 (定数1名)
木村 明美 (総合医療センター支部)
- 会計候補 (定数1名)
仲島 洋和 (総合医療センター支部)
- 執行委員候補 (定数2名)
小池久美子 (成人病センター支部)
遠山 公美 (総合医療センター支部)
- 会計監事候補 (定数2名)
有井 洋子 (呼吸器アレルギー医療センター支部)
島原 和志 (母子医療センター支部)

●産業技術総合研究所職員労働組合

- 執行委員長 (定数1名)
渡辺 義人 (化学環境科)
- 書記長 (定数1名)
増井 昭彦 (化学環境科)
- 会計 (定数1名)
喜多 幸司 (繊維・高分子科)
- 会計監事 (定数1名)
稲村 偉 (化学環境科)

●環境農林水産総合研究所職員労働組合

- 執行委員長 (定数1名)
山本 勝彦 (環境情報部)
- 副執行委員長 (定数1名)
佐野 雅基 (水産技術センター)
- 書記長 (定数1名)
藤岡 一 (食の安全研究部)
- 会計 (定数1名)
鬼追 隆雄 (環境研究部)
- 会計監事 (定数1名)
森井 正弘 (食の安全研究部)

医療

府・市病院統合の行き着く先は？

～自治体病院の役割と府民の健康・医療を考える～

10月27日(日) 10時00分～12時00分

エルおおさか研修室2(5階) 参加費無料

自助自立の「社会保障制度改革」が推進され、ますます貧困と格差が拡大し、医療が受けられない状況が広がっています。この間の住吉市民病院の廃止強行、府・市病院の非公務員化と統合計画、そして厚労省が進める病院機能の再編と府下の医療再編が住民の健康にどのように影響するのか議論します。

あわせて今後の自治体病院のあり方を医療関係団体や患者団体、住民団体のみなさんと一緒に考えます。

公衆衛生

感染症の危機から住民をまもれるか!?

～健康危機管理を通して保健所・地方衛生研究所の役割を考える～

11月10日(日) 13時00分～15時00分

大阪グリーン会館ホール(2階) 参加費無料

保健所や公衆衛生研究所は住民の健康危機管理の第一線機関として、さまざまな感染症に対応しています。グローバル化の中での海外からの輸入感染症、多剤耐性菌感染症、温暖化にともなう感染症の出現の可能性、マダニを原因とする新たな感染症など、住民をとりまく状況は、安全とはいえません。感染症からみた健康危機管理について、それぞれの機関がどのような役割を持ち連携しているのか、公衆衛生研究所が独立行政法人化されたらどうなるのか、住民の目線で考えます。

共催：保健所を守る大阪市民の会

児童福祉

なぜ児

～子どもと親

増え続け、その背、さまざまな社会の現状と

食と農

大阪

防災

見て感

“おおさ

～防災まち

ステーション
11月
津波
参加

南海トラフ
強いまちづく
ばならないの
住民の暮らし
た津波や高潮
で、船上から
にとって何カ

格差持ち込む「業績」

黒字

一人当たり支給額(医師：医師以外＝2：1)

	基礎額 医師以外B	医師 (医師以外×2)			医師以外A
		S (B×2.0)	A (B×1.5)	B (1.0)	
急性期C	31,920	127,680	95,760	63,840	63,840
呼吸器C	30,698	122,792	92,094	61,396	61,396
精神C	29,448	117,792	88,344	58,896	58,896
成人病C	24,426	97,704	73,278	48,852	48,852
母子C	24,762	99,048	74,286	49,524	49,524
本部	28,437	-	-	-	56,874

法人資金収支と計画超過額 (単位：千円)

	①	②	③=②-①
	H 24 度計画	H 24 度決算	計画超過額
急性期C	520,078	667,159	147,081
呼吸器C	65,314	270,598	205,284
精神C	173,082	333,587	160,505
成人病C	298,000	334,705	36,705
母子C	580,000	536,720	▲43,280
本部	▲861,000	▲800,109	60,891
法人合計	775,474	1,342,659	567,185

医療をしているのではな
強行しました。
収益のみで
病院間、職員
間を競わせる
手法では、医
療の質の向上
や患者サービ
スが置き去り
にされかねま
せん。病院労
組は、引き続
き、安心・安
全の医療が提
供できる病院
をめざして、
「業績手当」
の格差の持ち
込みに反対
し、一律支給
を求めていき
ます。